

2023年度日系社会研修修習コース一覧

所属センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	人数	上下	来日	終了	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経歴年数	年齢	日本語能力	英語検定	①目標	②成果	③計画(内容)	備考	
55	札幌	個別短期	無	継続	S1	農業開発/農産物加工	Sustainable Resources Management of Forest and Agriculture by using Drone and Remote Sensing technology	4	上	上半期いずれかで相談可		Rakuno Gakuen University	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp	教授 小川 健太/ 教授 森 夏樹	OGAWA Kenta (Mr.) / MORI Kaori (Ms)	tech@rakuno.ac.jp	表計算ソフトの操作など、基本的なコンピュータ操作が可能(リモートセンシングソフトの操作については問わない)	不問	不問	不問	不問	不問	英語でのコミュニケーション	農業、森林、環境管理に必要なGIS技術、GPS技術、マイクログリーンセンシング技術、ドローンの活用技術等を習得する。	環境空間情報研究室、環境リモートセンシング研究室、フィールド情報研究室において開発している高度なGIS技術を習得する専門演習に参加し、技術の向上を図る。また、出身国(地域)の実地のGISデータ、衛星画像を使い、ソフトの操作のみならず、GISデータを収集・整理する。また、GIS、リモートセンシングを活用した森林管理(NDVI)や野生動物管理に関するJICA研修へも参加し、研究及び国際交流を図る。なお、使用する機器やドローンコース及びソフトの一部は、帰国後にも活用できるように、本学が提供する。新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、来日かかない場合は全ての研修内容をオンラインでも対応可能である。詳しくは、様式1のE-mail: tech@rakuno.ac.jpに直接問い合わせください。	応募締切は5月末日コースの締切日です。	
56	札幌	個別短期	無	継続	S2	栄養改善	Food Science and Nutrition Improvement	2	上	6/18	7/19	Rakuno Gakuen University	Rakuno Gakuen University	https://www.rakuno.ac.jp	教授 石井 智美	ISHI Satomi (Ms)	ishii@rakuno.ac.jp	なし	不問	不問	不問	N3	不問	栄養学的見地から日本の専門料理、家庭料理について学び、日本の食文化に対する造詣を深め、日常の食を介しての栄養可能な料理講習会を運営できる技能を習得する。その料理講習会を通して、今日の日本の食における栄養について最新の知見も紹介出来る。日系社会の活性化に貢献できる力を身につける。	研修員は本申請者の研究室に籍を置き、大学での研修である強みを活かして、調理学、食品学など研修員が興味を持った講義を受けて、各種の専門演習に参加する。研修先は総合農業系大学として食品加工に関して多くの専門施設を擁している。日本の食品成分表、国民健康・栄養調査を用いた最新の栄養に関する知識を学ぶ。申請者の研究の演習、セミナーに参加し、共同で各種の調理実習を行う。合わせて発酵調味料の作り方を、日本の専門料理、家庭料理、食育の視点から、シェフの視点について、実習と講義を並行して行う。専門研修として、京都、奈良、大阪において食の研修旅行を行う。	日本語が少し話せなくても、日本の食について勉強ができれば、英語、スペイン語である程度まで対応可能。		
57	帯広	個別短期	無	継続	S3	保健医療	地域包括医療(看護と介護)	The Community-based Integrated Care System (Nursing and Caring)	3	下	10/1	11/9	学校法人 日本赤十字看護大学	Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing	http://www.rchokkaido-cn.ac.jp/	辻 裕昭	TSUJI Hiroaki (Mr)	tsuji@rchokkaido-cn.ac.jp	医療関係機関に属する者(看護師・介護士)	高校卒業程度	3	不問	N4程度	医療専門用語の使用が想定されるため、必要に応じて通訳を検討予定	① 研修員に地域社会における医療体制の全体像が理解される。 ② 研修員に地域社会における母子栄養改善から予防医療、介護まで総合的な看護学を学び、日本で活用するためのアクションプランを作成する。	1. 講義: ①日本の地方都市における看護と介護の取り組み ②母子栄養改善の手法、食育への取り組み ③成人病予防の取り組みと栄養 ④地域包括医療の看護と介護の視点 2. 視察: 他団体の施設、活動(公的機関、民間) 3. 演習: 研修員の職種に直結している問題と分析し、日本の手法を活用した上でアクションプランを作成する 4. 発表: 内部および研修関係団体・機関	本研修実施の意義/現地日系社会への裨益効果 本研修は、日本の地方都市における地域包括医療への取り組みについて、講義、実習、視察を通して、地域の総合的医療を目指す。地域医療に係る幅広い知見および技術を取得し、各国での実践より地方医療の基盤を構築することで、乳幼児から高齢者まで、健康状態に応じた適切なケアへの対応が可能となり、予防的早期療養の死亡率を低下させ、老年の予防医療の促進、末患患者への緩和ケア等の幅広い医療ケアに寄与できると考える。 ④ 研修員が帰国後の具体的な活動計画を作成する。	
58	北陸	個別短期	無	継続	S4	教育	「日系アイデンティティ意識・日系史教育教材作成」演習(その1)	Seminar on the Cultivation of the Japanese Identity and the Production of Teaching Materials on the Japanese Immigrants' History (1)	2	上	5/7	7/18	国立大学法人金沢大学	National University Corporation Kanazawa University	http://kuglobal.w3.kanazawa-u.ac.jp/eg/sie/	太田 亨	OTA, Akira (Mr.)	akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp	日系文化継承教育に関わるか、今後学ぶ予定がある者	大学卒業程度	3	N/A	N/A	N/A	日本の歴史や文化、社会的背景、現代日本の実情などに関する理解を深め、質の高い日系文化継承教育教材を制作する。	1. 講義: 日本文化概論、日本史、日本文化史、日本社会概論、日本伝統芸能概論 2. 演習: 日本文化・社会プログラム、日本伝統芸能演習、等 3. 視察: 人間社会学域学校教育学部附属学校、放送大学、石川県をめぐり、必要に応じて北陸各地の文化施設訪問(美術館、博物館、等) (必要に応じて) 研修員の研修内容に関わる地域への研修旅行 4. 発表: セミナー・外部研修: (必要に応じて) 研修員の研修内容に関わるものへの参加を検討 最終発表: 学内で研修最終日に実施予定(閉講式も兼ねる)	研究テーマについて事前に太田先生に相談すること。	
59	北陸	個別短期	無	継続	S5	教育	「日系アイデンティティ意識・日系史教育教材作成」演習(その1)	Seminar on the Cultivation of the Japanese Identity and the Production of Teaching Materials on the Japanese Immigrants' History (1)	2	下	10/1	12/11	国立大学法人金沢大学	National University Corporation Kanazawa University	http://kuglobal.w3.kanazawa-u.ac.jp/eg/sie/	太田 亨	OTA, Akira (Mr.)	akirao@staff.kanazawa-u.ac.jp	日系文化継承教育に関わるか、今後学ぶ予定がある者	大学卒業程度	3	N/A	N/A	N/A	日本の歴史や文化、社会的背景、現代日本の実情などに関する理解を深め、質の高い日系文化継承教育教材を制作する。	1. 講義: 日本文化概論、日本史、日本文化史、日本社会概論、日本伝統芸能概論 2. 演習: 日本文化・社会プログラム、日本伝統芸能演習、等 3. 視察: 人間社会学域学校教育学部附属学校、放送大学、石川県をめぐり、必要に応じて北陸各地の文化施設訪問(美術館、博物館、等) (必要に応じて) 研修員の研修内容に関わる地域への研修旅行 4. 発表: セミナー・外部研修: (必要に応じて) 研修員の研修内容に関わるものへの参加を検討 最終発表: 学内で研修最終日に実施予定(閉講式も兼ねる)	研究テーマについて事前に太田先生に相談すること。	
60	北陸	個別短期	無	継続	S6	保健医療	医療(麻酔科)	Medical treatment (Anesthesiology)	2	下	10/1	11/2	金沢大学	Kanazawa University	https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/	谷口 巧	Taniguchi Takumi (Mr)	hosom@dm.kanazawa-u.ac.jp	必要資格: 麻酔科専門医師であること(医師免許OR取得済みであること) 50歳までの、将来性のある医師 経験年数: 6年以上 英語能力: 研修に耐えうる英語力が必要	大卒	6	50歳まで	N3(絶対要件ではない)	要(研修に耐えうる英語力は必須)	①日本の周術期管理の全体像を理解する ②日本の周術期管理の技術・知見が習得される ③ ①、②を基に、自国で応用可能な技術・手法等を整理する ④帰国後の具体的な活動計画を作成する	研修において臨床実習は行わない。 ※選考書類以外の提出物 研修前、来日前に抗体価がわかる書類の提出を必要とし、問院が定める基準を満たさない場合、ワクチン接種の上、接種証明書提出を必要とする。(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎)	https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/research/training/ https://web.hosp.kanazawa-u.ac.jp/research/training/doi/intern/08_u/mv0201.pdf	
61	横浜	個別短期	-	継続	S7	社会保障	高齢者介護サービスにおける人材育成システム	Human resource development in elderly care	2	下	12/3	3/2	株式会社つばエデュース	Tsukuba Educe Co.Ltd. □	http://i-relay.jp/	飯岡 達郎	TATSURO IioKa (Mr.)	iioika1225@gmail.com	実際に家庭及び地域社会で、介護を必要とする高齢者と接した経験 日系社会でこれから高齢者介護に関わろうとする意思があること 本研修を受講するにあたり、実体験と照らし合わせて理解する必要があるため □	不問	不問	不問	N3	不問	研修員が当該地域で応用可能な、要介護高齢者に対する介護サービスの技術及び知識を習得し、同様の技術、知識を現場に広めることを目的とする。 □	1. 講義 (介護職員初任者研修講座を受講) ①日本の高齢者介護福祉制度の概要 ②高齢者の日常生活自立の重要性とケアの視点 ③コミュニケーション技術 ④老化・認知症・障害の理解 ⑤生活支援技術演習 2. 実習: ① 認知症利用者への接し方 ② 実習: ① 認知症利用者への接し方、排せつ 3. 見学: 他団体の施設、活動(公的機関、民間) 4. 演習: 直前直中の問題を分析し、日本の手法の適応を検討し、帰国後の活動計画の作成 5. その他: 介護職員初任者研修の資格試験勉強会 6. 学芸会等: 介護事業者の団体である茨城県福祉介護事業協同組合の研修会に参加 7. 発表: 内部及び茨城県福祉介護事業協同組合 □		
62	横浜	個別短期	-	継続	S8	社会保障	日本食の介護食についての知識並びに技能習得	Acquire knowledge and skills about Japanese caring meals	2	下	12/3	3/2	株式会社つばエデュース	Tsukuba Educe Co.Ltd.	http://i-relay.jp/	飯岡 達郎	TATSURO IioKa (Mr.)	iioika1225@gmail.com	実際に家庭及び地域社会で、介護を必要とする高齢者と接した経験 日系社会でこれから高齢者介護に関わろうとする意思があること 本研修を受講するにあたり、実体験と照らし合わせて理解する必要があるため □	不問	不問	不問	N3	不問	研修員が当該地域で応用可能な、日本食に関する知識(下準備、調理方法等)、介護食に関する知識(食料選び、調理方法等)を習得することを目的とする。 □	1. 講義 (介護職員初任者研修講座テキストを使用し指導する) ① 食事に関連したことからたの仕掛けと自立に向けた介護 ② 実習: ① 認知症利用者への接し方、排せつ 2. 実習: ① 認知症利用者への接し方、排せつ 3. 見学: グループ法人的施設、食事形態 4. 演習: 帰国後の活動計画の作成 5. その他: 介護職員初任者研修の資格試験勉強会 6. 学芸会等: 内部及び茨城県福祉介護事業協同組合 □		
63	横浜	個別短期	-	継続	S9	自然環境保全	環境教育指導者養成研修	Training for Environmental Education Leaders	2	下	10/1	11/29	公益財団法人キープ協会	Kiyosato Educational Experiment Project, Inc	https://www.KEEP.or.jp/p/	鳥屋 健	TOYO Takeishi (Mr.)	t_toyao@keep.or.jp	環境系・教育系いずれかの大学またはそれに準ずる学校の卒業者が望ましい。 □	高校卒業程度	必要資格に記載	不問	N3	不問	研修員が環境教育指導者(インタープリター)として、必要な基礎技術と知識を取得する。 □	1. 講義・実習: 環境教育概論、インタープリテーション概論、日本の環境教育、ハケ母の自然、インタープリテーション(定義、種類、原則)、資質、素材の理解、対象の理解、コミュニケーション、プログラムデザイン等の基礎知識を理解する。 ・キープ協会の実践を参考に、自国で学校等の現場で環境教育プログラムを行うことができる。 □	1. 講義・実習: 環境教育概論、インタープリテーション概論、日本の環境教育、ハケ母の自然、森林療法プログラム、プログラム実施と相互評価、体験学習法、プログラムのデザイン、インタープリテーション、実習、プログラムの準備・実施・評価(幼児・小学校・中学校・大人一般・シニア・親子) ※実習が研修の8割を占めます。日々の実践を体験しながら、その体感を通して、理論と実践がつながるようになっています。 2. 見学: 環境教育施設(ビジターセンター) 3. 発表: 研修最終日 □	・研修実施場所は都市部ではないので、買い物等は最寄りのスーパーが車で30分の立地です。 ④ 宿舎は、キープ協会借宿利用予定。一部日貸しです。部屋の移動をお願いする場合があります。 □

2023年度日系社会研修修習コース一覧

所属センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	人数	上下	来日	終了	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経歴年数	年齢	日本語能力	英語検定	①目標	②成果	③計画(内容)	備考		
74	四国	個別短期	無	継続	S20	自然環境保全	寒冷条件下での自然環境保全を目指したバイオ複合材料の調査研究	Research and edification on bio-composite materials in cold weather aiming the conservation of natural environment	2	下	下半期いずれかで相談可	1/26	徳島大学	Tokushima University	http://www.tokushima-u.ac.jp/	長谷崎 和洋	HASEZAKI Kazuhiro (Mr)	hasezaki@tokushima-u.ac.jp	理系大学在学中または卒業	大学卒業程度	不問	不問	不問	不問	全世界で自然環境保全を目指したバイオ複合材料が必要とされていることを理解し、調査研究を通じて、専門知識を得ること。さらに、徳島大学での先進技術を知ること、日本社会の発展と移住先国の国連りに貢献できる新しい取り組みを検討する。	1.石油由来のプラスチックごみの環境に及ぼす影響について理解すること 2.石油由来のプラスチックに代わるバイオ材料についての知識を得ること 3.最新のバイオ材料の研究動向を知ること 4.自然環境保全を目指したバイオ複合材料の試作研究を行い、専門知識を得ること	1.調査：教員から個別のレクチャー、学術論文読解、最新の研究動向を文献ベースで調査し、問題点の抽出ならび解決策の一つであるバイオ材料の現状分析調査を行う。大学院進学が可能となるように研究指導を行う。 2.試験計画策定：問題点を解決するためのバイオ複合材料の試作について、試作方法、分析方法、評価法について、試験計画を策定する。 3.試作試験：バイオ複合材料の試作を行う。 4.分析：適切な分析評価方法を調査し、分析を行う。 5.発表：まとめた分析結果から目的としたバイオ複合材料の試作の可否ならびにさらに性能向上に向けた問題点をまとめる。	応募締切は10月末日コースの締切日です。	
75	四国	個別短期	無	継続	S21	自然環境保全	高温多湿環境下での自然環境保全を目指したバイオ複合材料の調査研究	Research and edification on bio-composite materials under high-temperature and humidity aiming the conservation of natural environment	2	上	上半期いずれかで相談可	9/15	徳島大学	Tokushima University	http://www.tokushima-u.ac.jp/	長谷崎 和洋	HASEZAKI Kazuhiro (Mr)	hasezaki@tokushima-u.ac.jp	理系大学在学中または卒業	大学卒業程度	不問	不問	不問	不問	全世界で自然環境保全を目指したバイオ複合材料が必要とされていることを理解し、調査研究を通じて、専門知識を得ること。さらに、徳島大学での先進技術を知ること、日本社会の発展と移住先国の国連りに貢献できる新しい取り組みを検討する。	1.石油由来のプラスチックごみの環境に及ぼす影響について理解すること 2.石油由来のプラスチックに代わるバイオ材料についての知識を得ること 3.最新のバイオ材料の研究動向を知ること 4.自然環境保全を目指したバイオ複合材料の試作研究を行い、専門知識を得ること	1.調査：教員から個別のレクチャー、学術論文読解、最新の研究動向を文献ベースで調査し、問題点の抽出ならび解決策の一つであるバイオ材料の現状分析調査を情報収集できるように研究指導を行う。 2.試験計画策定：問題点を解決するためのバイオ複合材料の試作について、試作方法、分析方法、評価法について、試験計画を策定する。 3.試作試験：バイオ複合材料の試作を行う。 4.分析：適切な分析評価方法を調査し、分析を行う。 5.発表：まとめた分析結果から目的としたバイオ複合材料の試作の可否ならびにさらに性能向上に向けた問題点をまとめる。	応募締切は5月末日コースの締切日です。	
76	四国	個別短期	無	継続	S22	社会保障	地域包括ケアシステムと在宅医療	Community-based integrated care systems and home health care	2	下	11/5	12/1	医療法人ゆうの森	Medical Corporation "Yuu no Mori"	http://www.tampopo-clinic.com/	木原 信吾	KIHARA Shingo (Mr)	kihara@tampopo-clinic.com	日系社会で医療・保健・福祉分野に従事する者	不問	不問	不問	N3	不問	患者中心の視点で「生活の中の医療」「病気ではなく人を助ける」を心がけ、患者のニーズに応じた医療システム、在宅患者やご家族がご自宅で過ごすために必要な知識、技術、支援方法を習得する。加えて、地域で最期まで暮らし続けることを支える様々な仕組みやシステムについても施設やサービスの見学あるいは実体験を通して安心して暮らしていくことの出来る地域創生法を実例から理解する。	1.日本の高齢者福祉制度の全体像が理解される。 2.日本の在宅医療の技術・知識が習得される。 3.前2項を元に、自国で応用可能な介護技術知識を整理する。 4.高齢者施設の運営、管理について理解する。 5.高齢者用住宅の利便性について理解する。 6.高齢者に残されている力を使うケアについて理解し、応用できることを計画する。 7.住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けるための包括的な地域医療(訪問看護・看護・リハビリ・介護等の包括的な展開)を理解する。 8.へき地の診療所の取組みや地域との関わり方を理解する。 9.帰国後の具体的な活動計画を作成する。	【内容】 1. 講義 1) 高齢社会を支える在宅医療 2) 高齢者ケア 3) 在宅緩和ケア 4) 地域包括ケアシステム 2. 実習 訪問診療、訪問看護、訪問リハビリ、鍼灸マッサージ、訪問介護などへの同行 3. 実習 1) 在宅医療支援病棟&ホスピス・緩和ケア病棟 2) 高齢者施設、高齢者賃貸住宅 3) 訪問看護・介護ステーション 4) へき地の診療所の取組みと地域医療(療養診療所) 4. 演習 直面している問題を分析、日本の手法の適応を検討、帰国後の活動計画の作成 5. 発表 成果報告会	【カリキュラム】 以下のカリキュラムにおいて、研修内容の充分な理解と習得が行われることを目指します。 1. 在宅医療全般についての講義と在宅での臨床研修 2. 在宅ターミナルケアについての講義と当該患者様宅での臨床研修 3. 在宅での看護、リハビリ、介護、鍼灸マッサージ等の臨床診療 4. 地域医療とフィールドワーク(療養診療所) 5. 医療連携、介護連携による地域包括ケアの講義と見学研修 6. 高齢者施設の見学研修	
77	四国	個別短期	無	継続	S23	地域開発	よさこい踊り子チームのマネジメントを有する日系社会の活性化	Japanese Community Revitalization through the Management of Yosakoi Dancers team	1	下	1/8	2/2	高知希望工程基金会	Kochi hope plans foundation	N/A	山中 茂	YAMANAKA Shigeru (Mr)	chinatu6732@ybb.ne.jp	日系社会でのよさこい踊り子チームマネジメントを期待できる人材	不問	不問	不問	不問	研修可能な日本語能力を有する者	不問	①現在所属するよさこい踊り子チームの総合的なマネジメント力のレベルアップを図る ②研修成果物であるよさこい踊り子の衣装、音楽、囃子、舞付を活用したアクションプランを創造する ③日本のよさこい祭り関係者との連携を通じて、現地チームの持続可能な運営サポート体制を構築する	1. 講義：「よさこい祭り」とよさこい踊り 踊りの歴史と変遷 2. 視察：囃子制作現場、よさこい衣装制作現場、よさこい音楽セレクト現場、よさこい振付セレクト現場、高知よさこい情報交流館、高知城、高知歴史博物館、龍馬の生きた町記念館 3. 発表：日系社会の現状(カンタリレポート)、アクションプラン(研修成果報告) 4. その他：ホームビジット、地元青少年国際交流団体		
78	四国	個別短期	無	継続	S24	教育	言語と文化の継承と教育技術向上実践	A Skill-Building Program for the Inheritance of and Education on Indigenous Languages and Cultures	2	上	5/7	6/6	高知県立大学	University of Kochi	https://www.u-kochi.ac.jp/	向井 真樹子	MUKAI Makiko (Ms)	mukai@u-kochi.ac.jp	日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師。 日本語・日本文化を学びたい方は、特に資格を問わない。	不問	英語経験1年以上	不問	N3	不問	①地域の歴史、文化、慣習、言語(方言)の継承とその教育方法の技能習得並びに日本の言語指導教育に関する知識の習得と教育実践力の向上 ②地域のコミュニティの活性化に向けて日本語・日本文化を学び直し、文化の保存と継承のための方法の習得と実践能力の向上	1. 日系日本語担当教員としての専門知識と実践力の向上 2. 日本語と日本文化を学び直したい方、または日系日本語担当教員としての専門知識と実践力の向上 3. 1日の振り返り、日本人学生・留学生との討論、成果発表、意見交換			
79	九州	個別短期	無	継続	S25	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	3	上	上半期いずれかで相談可		国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/med/en/index.html	森山 智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr)	hiko.moriyama.153@m.kyushu-u.ac.jp	医師(内視鏡経験が1年以上で年齢60歳以下) 経験年数：医学部卒業後2年以上かつ臨床経歴2年以上	大卒程度	2年	60歳以下	不問	技術研修は英語で実施	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習得できる ・次世代型トレーニングモデルや逐次除開を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画を作成する ・インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1. 講義：最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学：九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3. 実習：粘膜モデルやブタから切除した臓器を用いた内視鏡治療の練習 4. 学会参加：日本消化器内視鏡学会や日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加 5. 発表：病院内で研修内容を発表	応募締切は5月末日コースの締切日です。		
80	九州	個別短期	無	継続	S26	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	3	下	下半期いずれかで相談可		国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/med/en/index.html	森山 智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr)	hiko.moriyama.153@m.kyushu-u.ac.jp	医師(内視鏡経験が1年以上で年齢60歳以下) 経験年数：医学部卒業後2年以上かつ臨床経歴2年以上	大卒程度	2年	60歳以下	不問	技術研修は英語で実施	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習得できる ・次世代型トレーニングモデルや逐次除開を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画を作成する ・インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1. 講義：最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学：九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学と討論 3. 実習：粘膜モデルやブタから切除した臓器を用いた内視鏡治療の練習 4. 学会参加：日本消化器内視鏡学会や日本消化器病学会を中心とした学会、研究会への参加 5. 発表：病院内で研修内容を発表	応募締切は10月末日コースの締切日です。		
82	沖縄	個別短期	無	継続	S28	都市開発・地域開発	建築設計(意匠・構造及び設備)	Architectural Design (Design/Structural and Equipment)	2	上	6/18	7/17	株式会社社会志建築設計事務所	Gushiken Architectural Engineering Co., Ltd. Ginowan Branch Office	https://gushiken-e.net/	城間 俊	SHIROMA Suguru (Mr.)	supuru.shiroma@gushiken-e.ne.jp	大学の建築学科都市計画課の卒業生	大学卒業程度	大学卒業3年以上	想定年齢30歳以下	日本語ができるとは望まじいが、英語能力があれば対応可能	英語でのコミュニケーション	建築の設計・施工に関する、建物の機能性・安全性、適正な選定計画、耐震・環境対応、これらに関する建築計画、また施工管理において基本的技術を習得する。	1. 日本における建築設計の基本的な技術全般を習得する 2. 当社社員による各分野の講座にて、必要な知識を習得する 3. 当社が抱える工事現場へ向かい、生の日本の工事情況・環境に慣れる 4. 当社が行った実績(施設)の見学、史跡や有名施設の視察を通じ、沖縄の環境を土台とした建築の成り立ちを習得する。	提案企業は、2015年から当該研修を実施。日本人をはじめ外国人職員も多く、JICA研修員或るに加入、現大留學生を対象としたプログラムを英語/西語で実施している。建築、土木、電気設備に係る設計・施工をメインとした建築設計事務所であり、米軍からの受注も多く、技術的適応性、外国人を対象とした研修実績も多く、日系研修を支える重要な地域リソース。		

2023年度日系社会研修研修コース一覧

所管センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目 和文	研修科目 英文	入 数	上 下	来 日 日	修 了 日	提案団体	提案団体 英語表記	提案団体 URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経 験 年 数	年 令	日本語 能力	英語 検定 資格	①目標	②成果	③計画(内容)	備考	
83	沖縄	個別短期	無	継続	S29	農業開発 ・農村開 発	花卉園芸の栽培技術及びフ ラワーアレンジメント技術 研修	3	下	10/1	12/22	農業生産法人ANDES farm合同会社	ANDES farm Inc.	なし	伊藤 裕美子	IGET Yumiko (Ms.)	andesnouen@gmail.com	農業に関心がある者	不問	不問	不問	不問	日常会 話で可 能な程 度 (N5)	不問	研修員が自国での花卉園芸の発展に貢献で きる人材となるよう花卉園芸に関する基礎 的な栽培技術等を習得し、農業経営の発展 に寄与する事を習得する。ピカシダ等胞 子植物の栽培方法を習得する。フラワー アレンジや花束等技術を習得する。	1. 植物の育種方法を習得する。 さし木、取り木、株分け、胞子栽培等 の技術力を向上する 2. 経営管理能力を習得する。フラ ワーアレンジ方法を考察する。フラ ワーアレンジ、生け花等を体験する。 3. 農業全般を体験し、帰国後、実践的な 事業計画を作成する。	1. 講義・実習・視察 ・(講義) 植物による育苗・育種の違い ・(実習) 肥培管理の技術の習得 ・(実習) 栽培管理の技術の習得 ・(実習) 胞子栽培の技術の習得 ・(実習) フラワーアレンジメント、 生け花の技術習得 ・(視察) 農産物の加工施設等の視察 ・(視察) 植物園、観光農園等の視察 ・(視察) 直売所、道の駅等の視察 ・(その他) 農業大・先達農家等の 情報交換	